

# HISTORY

## 沿革

- 1949年 5月 岐阜大学の設置により附属図書館(本館、学芸学部分館、農学部分館)を設置
- 1952年 4月 工学部分館を設置
- 1961年 10月 農学部分館と工学部分館を統合し、農・工学部分館へ
- 1965年 4月 医学部分館を設置
- 1969年 4月 教育学部分館を長良分館に、農・工学部分館を那加分館に改称
- 1982年 3月 岐阜大学の統合移転により、本館及び那加分館、長良分館を統合し附属図書館本館(鉄筋3階建6,385㎡)を建設
- 1994年 6月 事務組織の改組(部課制となる)
- 2004年 3月 医学部の移転に伴い医学部分館を廃止
- 2004年 4月 附属図書館を、図書館に改称 事務組織の改組(学術情報部となる)
- 2007年 6月 医学図書館を設置
- 2010年 4月 事務組織の改組(学術国際部となる)
- 2014年 6月 図書館増築・改修竣工
- 2015年 4月 事務組織の改組(情報部となる)

# COLLECTION

## 大型コレクション

**ウェブスター：アメリカ英語辞書コレクション**  
ウェブスター辞書として刊行されている1806年の初版本から1943年までに刊行された辞書の異版100点、108冊の英語辞書コレクション。

**静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成**  
静嘉堂文庫の蔵書の内、松井簡治博士の旧蔵書を中心とした江戸時代から明治初期にかけての国語学関係の写本・版本・活字本(明治時代)472部、769冊のマイクロフィルム版。

**静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成**  
静嘉堂文庫の蔵書の内、和歌および連歌俳諧、狂歌川柳関係の古典籍資料1,333点(3,192冊)余のマイクロフィルム版。

**大東急記念文庫所蔵江戸文学総覧**  
江戸期の板本の中より厳選された江戸文学878点、1,530冊の原本のマイクロフィルム版。

**大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総覧**  
古物語、説話物語、歴史物語、軍記物語、随筆、日記・紀行の古字、古版の特別書を中心とした物語文学95点、695冊のマイクロフィルム版。

**環境問題研究コレクション**  
アメリカ、イギリス、ドイツを中心として、世界各地で刊行された環境問題研究の学術文献で雑誌19点、叢書26点、図書200冊のコレクション。

**明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌完全復刻版コレクション**  
明治・大正・昭和三代にわたる教育実践報告、教育時事問題、教育世論の動向、教育界内外の広範な教育事象等を報じた教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション。

**Landolt-Börnstein 数値表 第1群 原子核・素粒子物理学**  
自然科学分野における著名な数値表。原子核・素粒子物理学に関する最新データを収録した第1群の13巻

## 特別資料

**貴重書**  
本学の前身である岐阜師範学校、岐阜高等農林学校、県立医科大学当時に収集された江戸、明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約1,500点を特別資料庫に収蔵。



特別資料/奈良絵本「小しきふ」2冊(寛文頃)  
紫式部、和泉式部、小式部「三代の物語」

# CAMPUS MAP

## キャンパスマップ



岐阜大学図書館  
2016年発行  
編集・発行 岐阜大学図書館  
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1  
TEL. 058-293-2184  
FAX. 058-293-2194

# GIFU UNIVERSITY LIBRARY

## 岐阜大学図書館





## MESSAGE

岐阜大学図書館館長 福士 秀人

「図書館」と聞いたときにみなさんはどんなことを思い浮かべますか。本がたくさんあり、静かに読書をするところでしょうか。わからないことがあったときに、調べるところでしょうか。

ここで、「図書館」という言葉の起源をさぐってみると、この「図書館」という日本語は明治時代につくられた言葉のようです。それまで、日本では本が集められたところを「文庫」、「書府」、「書庫」などと呼んでいたようです。外国語についてみると、Online Etymology Dictionaryによれば、英語の「library」は本がある場所のことで、古フランス語の *librarie* から英語になったとされ、*librarie* はラテン語の *librarius* (本に関すること) や *librarium* (本棚) からきており、こちらは *liber* (本、紙、羊皮紙) に由来するようです。さらに *liber* はもともとは「木の樹皮」を意味していたとも書かれています。一方、フランス語やスペイン語では、それぞれ *bibliothèque* や *biblioteca* というそうです。これらはいずれも「bible」に由来するそうです。この「bible」が何か、みなさんはよくご存知でしょう。「図書館」という一つの言葉

から、世界が広がるのがおわかりになるでしょう。さらに日本語としての「図書館」、さらに加えて「本」の語源をさぐると、もっとおもしろいことがわかってきますが、それを図書館で調べることは皆様にお願ひすることにいたします。まさに「図書館」はこのように世界を広げることができる場所と言えます。

さらに、情報の電子化により、より自由に使える大きな空間も図書館は得ることことができました。人類が築き上げてきた知的財産がぎっしり詰まっているとも言える図書館に、新しい空間が加わったのです。例えば、電子ジャーナルやデータベースです。電子化された情報と従来の本を集めた場所としての図書館が融合した新しい図書館を発展させ、築いていくのは、この図書館を使う皆さんです。

古いように見える本にも新しい発見がたくさんあります。本をとりだし、自由な空間で新しい出会いをしてください。図書館は皆さんが使いこなすことで、さらに生き生きとした図書館になります。ぜひ図書館に来て、使ってください。

## FLOOR GUIDE

フロアガイド

# 3F

閲覧コーナー

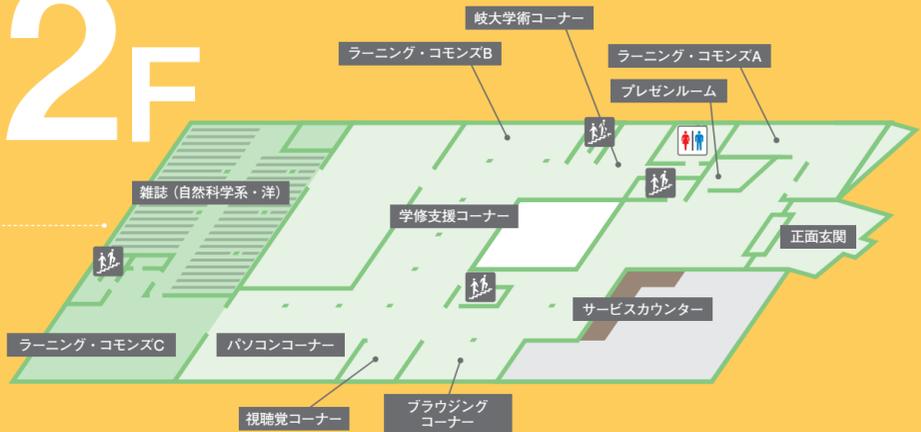
洋書  
和書  
今西文庫・林文庫・早野文庫  
大型コレクション



ラーニング・commons A,B,C  
プレゼンルーム  
パソコンコーナー  
視聴覚コーナー  
ブラウジングコーナー

雑誌 (自然科学系・洋)  
学修支援コーナー  
岐大大学術コーナー

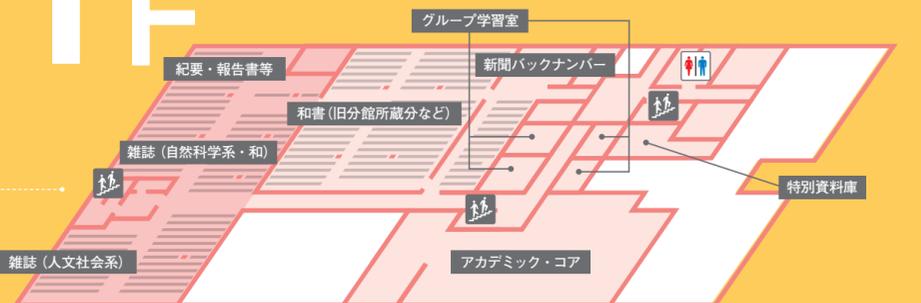
# 2F



アカデミック・コア  
グループ学習室

雑誌 (自然科学系・和)  
雑誌 (人文社会系)  
紀要・報告書等  
和書 (旧分館所蔵分など)  
特別資料庫  
新聞バックナンバー

# 1F



上下：電動集密書庫



閲覧コーナー



ラーニング・commons



上下：図書の企画展示



玄関ホールからロビーをのぞむ



ブラウジングコーナー



上：パソコンコーナー 下：閲覧席